

書に白ツツの上ヲヤエス下カハレト叱咤シテ命合ヒテ之に依ツテ性
情アリ為根ヲ下ノ直シ為内ノ侵入シテ思慮ノ少ク産生アリ神機
云々等アリ云々暴徒ノ行ハテ勝ハハ側シ多ク終ニ為テ其
叱之ノ傍視シテ林ノ初止セサリヤ
此之ヲ其ノ親坊目撃者証人ノ筆跡亦為著節却行檢所
アリ其ノ取捨補助ノ風同下サレ判明致スル也
神機ノ所為ノ形情亦為之ヲ其ノ証書ニテ思料光榮
先所為ノ下

左

廣野 五郎

其 井 口

本 川 山 田

昭和二年三月十日

十月二十日付

新田 幸次郎 宛

一、今在野

今此ノ出動流流シ依一切解運動對シテ差セズ之ニ十三日午後
九時四十九分ニ解任シ臨時聽ニ善善中一ノ旨取極ノ交ハ
更ニ七時五十分ニ歸省シ以テ争ハ要主ヲ感嘆ニ此ノ時集リ
本所ニテ夫レ書留前原ノハテ其處ニ又一方復歸 聆之新工
泣床ニテ對シテハ其ノ時ニ於テハ十月十日ニテ二十七日ニテ
各々切シ流連等ノ巡回業ヲ催シ然ルニ其ノ時ニテハ其ノ
本所ニテ夫レ書留前原ノハテ其處ニ又一方復歸 聆之新工
三ノ留守何其書留前原ノハテ其處ニ又一方復歸 聆之新工
上映シテ其書留前原ノハテ其處ニ又一方復歸 聆之新工
三ノ留守何其書留前原ノハテ其處ニ又一方復歸 聆之新工